

第貳號

天然造林計劃書

出品者青沼村

天然造林地經營及成績書

管 理 方		樹 本	樹 種	地 質	方 位 傾 斜	面 積	位 置	所 有 者
跡 地	事 頂 採	齡 數	種	質	斜	積	置	者
伐採後十年以内、天然更新法、ヨリ造林	伐採後十年以内、天然更新法、ヨリ造林	貳拾年ヨリ貳拾五年ニ至ル	赤松	稀ク岩盤ノ隙路出ル見ル土層深ク地味肥沃ナリ	南方ニ面シ約貳拾度ノ傾斜地ナリ	天然造林面積貳拾八町參反壹畝貳拾參步	南佐久郡青沼村大字平林字富士腰	南佐久郡青沼村 第貳號字直

大正三年二月編成ノ施業案ニ基テ輪伐期第一期即チ大正三十年ヨリ十五年間ニ輪

伐採後十年以内、天然更新法、ヨリ造林

伐採後十年以内、天然更新法、ヨリ造林

ヲナサントス

沿 革

古来有名ナル赤松林地ニシテ毎歲風味佳良ナル松茸ヲ産シ其名(曾原松茸)今猶地方ニ喧傳セラル舊領主大給侯茸狩ノ遺跡ニシテ緑ヶ隈榊野共倉空ニ聯ナリ翠色將サニ瀟々トシテ自然ノ雅光ニ一段ノ情趣ヲ添ヒテ處爾未敷度ノ野火ニ全ク其絶景ヲ没シ長ク國有林編入ノ下ニ空敷荊蕪ノ彌蔓ト地方村民ノ蹂躪ニ未ダセラレシヲ時ノ政府持テ同地ノ由緒ト自然ノ勝景トニ鑑ミ模範赤松林ノ造成ヲ目的トシ明治三十一・三十二年ニ亘リ數千金ヲ投シテ赤松ノ人工植栽ヲナシ然ルヲ明治三十九年本村大字平

栽ラセリ然ルヲ明治三十九年本村大字平

林區ニテ特殊拂下ヲ請ヒ次イテ明治四十三年
同區ヨリ本村ニ統一シタルモノナリ四圍何レモ村有
赤松林ニシテ圍村協力一致必ラス舊來ノ名林
トシテ其名ニ愧ケル地方無比ノ赤松模範林
ノ造成ヲ期セリ

造林
方法

明治三十九年國有林地拂下ノ後ヲ以テ人
工植栽ト萌芽成育ト相俟テ密生ニ殆
ト余ノ施スルモノナキノ實況ナリテ大正五年特
ニ本縣知事ノ造林費補助ノ指令ヲ仰テ本
年四月常設本林委員會及聯合衛生組合
各組會長ト協議シ遂ニ造林地ノ現状ヲ視
察シ全部ヲ但合敷會分割トシ之ヲ右組合ニ

保
護
法

分担也。各担当長、自治的、各担当区域に於
ける造林計劃を一任し、同時に、村民をして至誠
以て本村林愛護、美風振興の努力を起業
旬日七百三十余人出役の下、極めて迅速に
天然造林の完成を見たり。

大正六年三月青沢村に有林野管理規程
を設け、保護と管理と相待り、其實行の期
あり（別紙参照）

（以下は非常に淡く、読み取れない文字が並ぶ）

林... 林... 林... 林... 林...

右造林計劃及出品修也

大正五年九月三十日

山南佐久郡青沼村長日向治助

長野縣青沼村
日向治助

青沼村々有林野管理規程

青沼村々有林野管理規程

第一條 本村有林野ハ本規程ニヨリ之レヲ管理保護スルモノトス

第二條 本村民ハ常ニ村有林野ヲ愛護シ、植栽ト天然生トヲ間ハズ苟クモ林木其他地上産物ノ成育ヲ沮害スルガ如キ行爲ナキヲ期スベシ、殊ニ許可ヲ受ケタル場合ノ外林内ニ於テ木炭ノ製造ヲナスベカラズ

第三條 植栽地及天然造林地ハ必要ニヨリ管理者ニ於テ一般ノ入林ヲ禁止スルヲアルベシ

第四條 林野内ニ火災ノ虞アルコトヲ知り又ハ盜伐其他ノ災害ヲ知りタルモノハ村役場又ハ警察官吏ニ急報シ直チニ防禦ノ方法ヲ講ズベシ

但火災ノ場合ニ於テハ警鐘ヲ打ツ等其他便宜ノ方法ニヨリ一般ニ周知セシムベシ

第五條 前條ノ警報ヲ知リタルモノハ直チニ急行シテ防禦ニ努ムベシ

第六條 林野内ノ下刈區域及時期ハ毎年管理者ニ於テ決定シ豫メ公示スルモノトス

第七條 林野保護ニ關シ功勞アリタルモノニハ左ノ區別ニ從ヒ金圓ヲ贈與ス

一、火災ヲ知ラシメ災害ヲ未發ニ防止シタルモノニハ金五拾錢以上金參圓以下

二、盜伐其他規程違反者ヲ知ラシメタルモノニハ金壹圓以上金五圓以下

第八條 第二條ニ違反シ又ハ第四條第五條ノ義務ヲ怠リタルモノニハ村有林ニ關シ享有ス

ヘキ權利ノ一部又ハ全部ヲ剝奪スルコトアルベシ

附 則

本規程ハ大正六年三月二十七日ヨリ施行ス

大正六年三月二十七日設置